

日 時 令和6年7月19日（金）

石狩市立花川北中学校

児玉 慶一

1 単元（教材）名

第2章 世界の諸地域 1 アジア州

7 豊かな天然資源に支えられて～西アジア・中央アジアの資源と人々の生活～

2 研究との関り「対話を用いた主体的な学びと課題を創り出す授業の工夫」について

本単元では、アジア州の国々の地理的特色をつかみその国にあった経済発展をしていくことをとらえさせたい。その中でも、中国や東南アジアにおける安く豊富な労働力を背景に外国企業が進出したことでの経済発展や資源を輸出することで経済発展をとげた過程をとらえさせる。人口問題や環境問題などの課題を乗り越え経済発展を続けるためにはどうしたらよいか多面的・多角的に考察することを重点とし、本時では資源の枯渇や地球温暖化などの複数の資料から課題を発見し、その課題を解決し西アジアの国々が経済発展を続けるためのアイデアを考えさせる。

3 単元の指導計画

	学習内容	対話活動
	単元課題：アジア州の国々はなぜ経済発展できたのか。	
1	アジアをながめて	
2	工業化と大都市の成長（韓国）	工業化と輸出品目の変化に注目させ、ペアワークで深めさせる。
3	巨大な人口を支える農業と多様な民族（中国）	
4	「世界の工場」から「世界の市場」へ（中国）	経済発展による賃金上昇と都市への人口流入の関係性をペアワークで考察させる。
5	変わる産業と貿易（東南アジア）	日本企業の進出と安い賃金で働く労働者の関係を日本の労働者（高い賃金）と比較させグループワークで考察させる。
6	発展する産業と社会（南アジア）	インドのICT産業の発展の要因を資料をもとにグループ活動で深めさせる。
7 本時	豊かな天然資源に支えられて （西アジア・中央アジア）	西アジアの国々が経済発展し続けるための課題と改善策を生徒に視点を定めさせグループ活動を通して考察し深めさせる。

4 本時の学習

（1）本時の目標

西アジアの国々が経済発展を続けるための課題を、資料から適切に読み取ったことをふまえて改善策を多面的・多角的に考察し、表現する。（思考・判断・表現）

（2）本時の評価

B規準 西アジアの国々が経済発展を続けるための課題を読み取り、読み取った課題に対して自分なりの考えをまとめることができる。

<指導の手立て>

グループワークの観察を通して、西アジアの国々が経済発展を続けるための課題を読み取る視点を助言する。また、課題と解決策が関連するよう助言する。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入 5分	・アラブ首長国連邦の人口ピラミッドの特徴をつかむ	・人口ピラミッドの特徴を確認後ドバイの発展の資料を提示する。	
展開 ① 10分	課題：西アジアの国々が経済発展し続けるためにはどうしたらよいだろうか。		
	重要語句の確認 ・西アジア：原油、産油国、OPEC 中央アジア：レアメタルを中心に確認する。	・鉱産資源の輸出から経済発展をした点をつかませる。	
展開 ② 30分	資料から見られる西アジアの経済発展に関わる課題をつかみ、改善策を考える。		
	【個人作業】(10分) ・数点の資料から自分で西アジアが経済発展し続けるための課題だと思うものを見つける。 ・課題の解決策を考える。 【生徒が創り出した課題の例】 →資源の枯渇 →石油の産出地域の偏り 書き方の一例です。想定される生徒が創り出した課題の例があるとより授業がイメージしやすくなります。 【3～4名グループ活動】(10分) ・課題として選んだ資料①～⑤の生徒でグループ分け ・資料から見つけた課題点と解決策を交流する。 【個人作業】(10分) ・質問を受けて、より詳しく改善策を考える。	【個人作業】 ・資料の提示 原油輸出の資料、地球温暖化、原油輸出の流れ ・資料を選び、西アジアの経済発展に関わる課題を見つけ改善策を考えさせる。 ・経済発展に関わる点を意識させる。 ※課題を見つけられない生徒へは机間指導し助言 ※単元キーワード：経済発展・労働者・資源 【3～4名グループ活動】 ・見つけた課題と改善策が経済発展し続けることにつながっているか注意させる。 ・解決策に対して質問をし合うようにしかける。 【個人作業】 ・質問を受けて深まった改善策を記入させる。 単元キーワードを使うのも一つの例ですが、必須ではありません。	
終末 5分	・数名発表 課題と解決策の関連を中心に全体で確認	・数名発表 ・ワークシートを提出させる。 ・1か国で解決できない問題が多い。 →ヨーロッパ州へつなげる	ワークシート 思考・判断・表現